

小学館  
からの  
お知らせ

1/3

# 速報

## 第25回

# 「小学館ノンフィクション大賞」 最終選考結果のお知らせ

大賞

『牙 ～アフリカゾウの密猟問題を追って～』

三浦英之(みうら・ひでゆき)

小学館は本日、『週刊ポスト』『女性セブン』『SAPIO』3誌主催による「第25回小学館ノンフィクション大賞」の最終選考会（午後5時から）を行い、受賞作を決定いたしました。

今回は大賞に三浦英之『牙～アフリカゾウの密猟問題を追って～』を選考しました。

大賞受賞者には賞金として300万円が贈られます。

受賞を祝う会は、単行本の刊行に合わせて執り行う予定です。

## 第25回

「小学館ノンフィクション大賞」  
最終選考結果のお知らせ

主催 (株)小学館 週刊ポスト／女性セブン／SAPIO

大賞

## 『牙 ～アフリカゾウの密猟問題を追って～』

三浦英之(みうら・ひでゆき)44歳

現住所：福島県 職業：ノンフィクション作家

## 【プロフィール】

1974年6月26日、神奈川県生まれ。新聞記者、ノンフィクション作家。2000年、朝日新聞社に入社。南三陸駐在、アフリカ特派員などを経て、現在は福島総局員。2015年、『五色の虹 満洲建国大学卒業生たちの戦後』（集英社）で第13回開高健ノンフィクション賞を受賞。

## 【梗概】

アフリカ大陸で横行しているアフリカゾウの密猟の実態や、その原因となっている象牙の密猟組織の中枢に迫ったルポルタージュ。

アフリカでは毎年3万頭ものゾウが象牙を目的とした密猟によって殺され、あと十数年で絶滅してしまうと言われている。象牙の密猟によって生み出されたカネはテロリストの活動資金となり、無辜の市民がテロで殺されている。

筆者は朝日新聞のアフリカ特派員として、アフリカ東部でアフリカゾウが絶滅の危機に追い込まれている現状を取材。その後、ケニアでゾウの保護に取り組む日本人獣医の助けを借りて、密猟の原因となっている象牙の密猟組織を追う取材に着手する。

数カ月後、インターポールに身柄を拘束されていた、ケニア最大の密猟組織の「ドン」への単独インタビューに成功。彼が証言したのが、密猟に対する現地中国大使館の関与だった。

筆者はケニアの密猟組織の中枢にいるという、Rと呼ばれる人物の素性に迫るため、アフリカ各地を取材。最終的に大量の象牙を中国政府専用機に積み込んだとする関係者の証言を得たが、直後にある男の訪問を受け、取材を続けられなくなってしまった。

その頃、南アでは、ゾウを守るためにすべての象牙市場を閉鎖するかどうかを決める国際会議が開かれた。中国が「全市場を廃止すべきだ」と方向転換を図るなか、象牙の印鑑文化を持つ日本は「象牙市場の維持」を主張。世界的な反発を浴びながら、玉虫色の規制に落ち着いてしまう。

殺されゆくアフリカゾウ。絶滅をなんとか阻止しようとする人々。密猟への関与が指摘される中国政府。象牙市場を死守しようとする日本。その実態を実際の取材や当事者のインタビューによって解き明かす。

## 【第25回「小学館ノンフィクション大賞」について】

25回目を数える今回は、本年8月末日に募集を締め切り、100を超える力作が寄せられました。この中から次の4作が、本日午後5時から小学館本社で開かれた最終選考にかけられ、高野秀行、三浦しをん、古市憲寿の各選考委員により受賞作が決定いたしました。

### 【最終候補作】

■ 『赤ちゃんポストの虚実』  
森本修代

■ 『牙 ~アフリカゾウの密猟問題を追って~』  
三浦英之

■ 『よその子であれ、わが子であれ —「広島のマザー・テレサ」の真実—』  
秋山千佳

■ 『ラオラオ 波乱の中国を生き抜いた祖母の記憶』  
今村優莉

- 賞金：大賞=300万円（複数受賞の場合は分割）
- 発表：受賞作は1月中旬発売号の『週刊ポスト』『女性セブン』、1月発売号の『SAPIO』誌上、および小社ホームページで発表いたします。受賞作は単行本として刊行予定です。
- 選考委員：高野秀行（ノンフィクション作家）、三浦しをん（作家）、古市憲寿（社会学者）
- 受賞を祝う会は、単行本の刊行に合わせて執り行う予定です。

### 【小学館ノンフィクション大賞】

「小学館ノンフィクション大賞」は、1993年、創刊25周年を迎えた『週刊ポスト』が『SAPIO』とともに、21世紀へ向け新しい感覚で時代を切り拓いていく新進気鋭のライターに登龍門となるべく、「21世紀国際ノンフィクション大賞」として新設、第7回より「小学館ノンフィクション大賞」と改称したものです。受賞作は『絶対音感』（第4回）、『まぐろ土佐船』（第7回）、『ネグレクト』（第11回）、『小倉昌男 祈りと経営』（第22回）など、このジャンルでは異例のベストセラーとなっていることから、当賞がノンフィクションの新しい地平を拓き、新しい才能を発掘するものであることを示していると自負しております。募集作品は未発表作品に限り、海外冒険旅行や、博物誌、観察記、歴史発掘、ビジネスドキュメント、スポーツドキュメント、科学ドキュメントなど、さまざまな視点から「時代」を捉えたものを、国内外を問わず広く世界から求めます。原稿枚数は、400字詰め原稿用紙200～300枚程度で、応募資格は、プロ、アマ、性別、国籍、年齢を問いません。